

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 西淀川区
学 校 名 大阪市立川北小学校
学校長名 吉岡 千明

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・川北小学校では、第6学年 77名

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率については、国語は、全国平均より4.7ポイント、大阪市平均より3ポイント、算数は、全国平均より3.2ポイント、大阪市平均より2ポイント下回っている。算数・国語とともに、前回の令和元年度より、平均正答率の全国平均との差が、国語で8.1ポイント、算数で3.4ポイント、大阪市平均との差が、国語で4ポイント、算数で3ポイント縮まっている。学力が上昇傾向にある。

平均無解答率については、国語は、全国平均より1.9ポイント、大阪市平均より2.8ポイント高かったが、算数は、全国平均より0.3ポイント、大阪市平均より0.1ポイント低かった。学習に取り組む姿勢については、概ね身についている。

質問紙調査において、肯定的回答が全国平均を上回っているものは、将来の希望（夢、目標）、困難への挑戦、人助け、役立つ人間になる、地域・社会への貢献等であり、全国平均を下回っていたものは、自尊感情、自分の思いや考えを言葉で表現すること、計画的な家庭学習等であった。

コロナ禍（「緊急事態宣言」中の休業措置期間等）において、学習に対して不安を感じていた児童の割合は高かったが、ICT機器（タブレット等）の活用やオンライン学習の実施を含め、計画的に学習を継続できたと感じている児童の割合も高かった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕：「書く」力が、全国平均より10.7ポイント低く、「目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」力が十分でない。「話す・聞く」力も、全国平均より7.1ポイント低く、「資料を用いた目的を理解する」ことや「目的や意図に応じ、資料を使って話す」ことに課題がみられる。「読む」力は、全国平均より5.0ポイント低く、「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する」ことについては、全国平均より11.0ポイント下回っている。

漢字の書き取り、言語事項の習得と考えや思いを表現する力を伸ばす必要がある。

〔算数〕：「測定」領域については、全国平均と同じ正答率である。「数と計算」領域については、全国平均より0.9ポイント低く、必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できていない。「データの活用」の領域については、全国平均より5.5ポイント低く、棒グラフから、数量や項目間の関係を読み取ることはできるが、データを二次元の表に分類整理することができない。知識・技能に関する問題より、思考・判断・表現に関する問題の正答率が低い。

基本的な内容が組み合わされた課題を解決する力、数のきまりや数学的な考え方を身につけ、意味（概念）の理解を伴った課題の解決や考えを説明する力を育てていく必要がある。

質問紙調査より

「将来の夢や目標を持っている」に肯定的回答をする児童の割合（88.2%）が高く、「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦する」（72.4%）、「人が困っているときは、進んで助ける」（89.5%）も全国平均を上回っている。一方、「自分には、よいところがある」に肯定的回答をする児童の割合（68.5%）は低く、全国平均を8.4ポイント下回っている。「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉に表すことができる」（68.4%）や「家で自分で計画を立てて学習する」（68.4%）は、いずれも全国平均を下回っている。

「国語の学習が好き」と肯定的回答をした児童の割合（72.4%）で全国平均を14ポイント上回っている。また、「算数の学習が好き」と肯定的回答をした児童の割合（65.8%）で、全国平均を2.0ポイント下回っている。

「新型コロナウイルス感染症の感染拡大における休業措置期間等に学習に不安を感じていた」児童の割合（63.2%）は、全国平均より8ポイント高く、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大における休業措置期間等に計画的に学習を続けることができた」児童の割合（63.2%）は、全国平均を1.4ポイント下回っている。

今後の取組(アクションプラン)

国語、算数とともに、基礎的・基本的な学習内容の定着を継続して図っていくとともに、それらの力を基に、様々な課題を自ら解決していく力を伸ばしていく。そのために、習熟度別少人数指導の充実を図り、個に応じた指導を進めていく。同時に、ペア学習や少人数でのディスカッションや意見交流等を取り入れる。共に学ぶことで、学ぶ楽しさ、分かる喜びを感じさせ、学習に対する主体性を育てていき、主体的・対話的で深い学びに繋げていく。自分の思いや考えをかく（表現する）時間を十分に取り、その力を伸ばしていく。

また、学習したことを活用する場面を設定することで、学ぶことの有用性を感じさせていきたい。そして、自ら計画を立てて学習する習慣を身につけさせ、各自が学びの主体である意識を育てたい。

今後も、研究テーマである「自分の思いや考えを伝え合う力を育てる」ことを軸に全教育活動を進めていくとともに、自分のよさに気づき、他者理解を深める機会を多く設け、自他を大切にする児童を育てていく。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況下において、「子どもの学びを止めない」ためにも、オンライン学習等の更なる充実を図っていく。

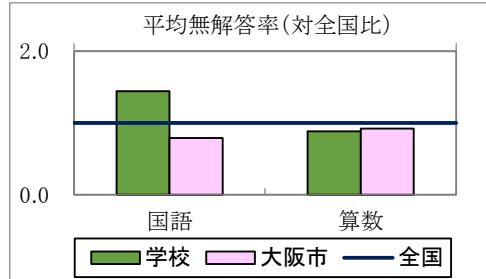
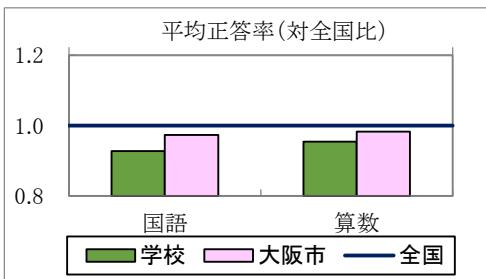
【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	60.0	67.0
大阪市	63.0	69.0
全国	64.7	70.2

平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	6.2	2.3
大阪市	3.4	2.4
全国	4.3	2.6

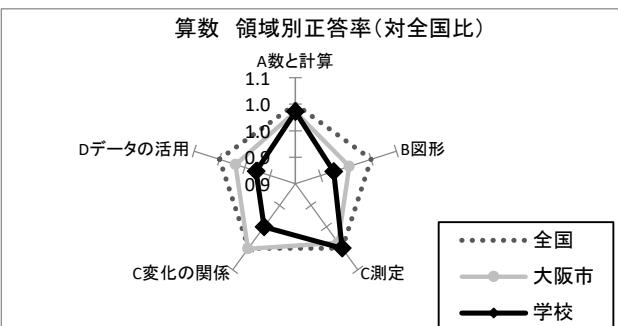
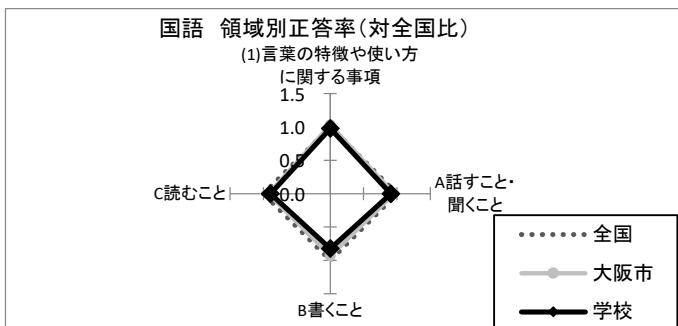
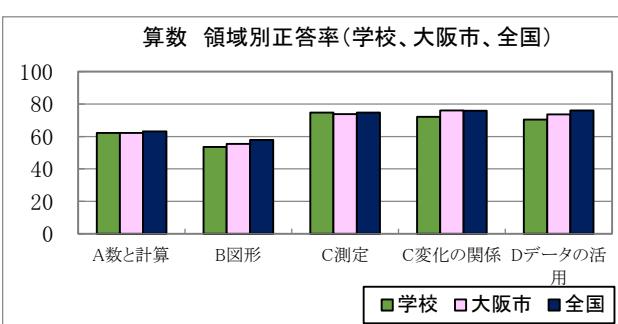
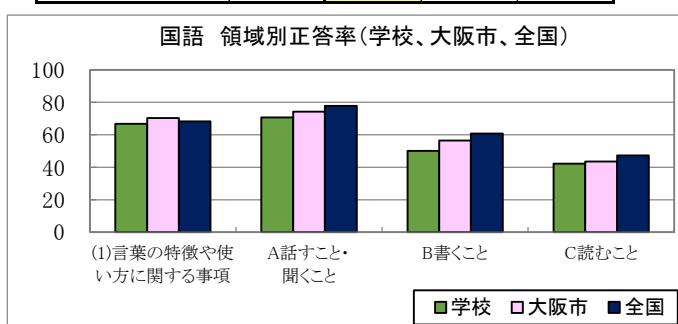


【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	6	66.7	70.3	68.3
(2)情報の扱い方にに関する事項	0	0.0	0.0	0.0
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
A 話すこと・聞くこと	3	70.7	74.3	77.8
B 書くこと	2	50.0	56.4	60.7
C 読むこと	3	42.2	43.5	47.2

【 算 数 】

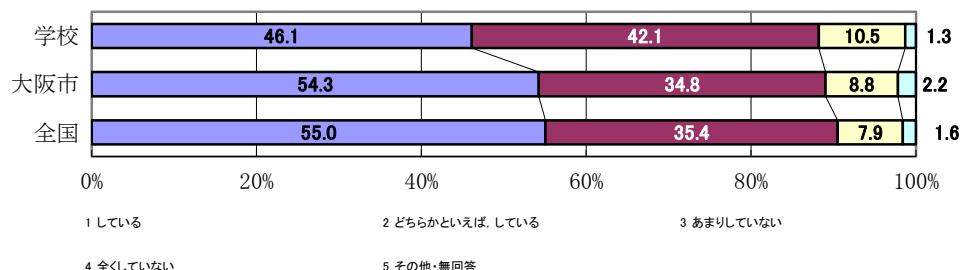
学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	4	62.2	62.2	63.1
B 図形	3	53.6	55.4	57.9
C 測定	3	74.8	73.8	74.8
C 変化と関係	3	72.1	76.0	75.9
D データの活用	5	70.5	73.6	76.0



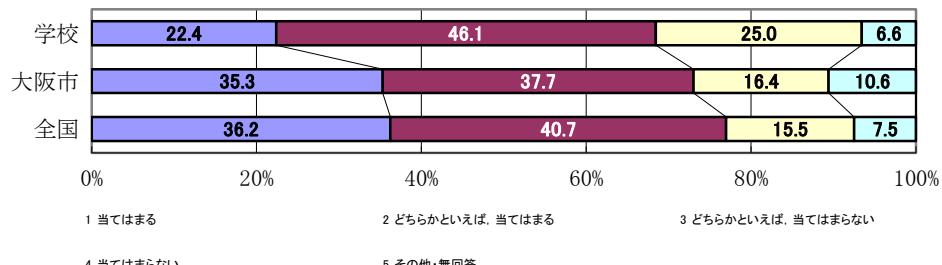
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

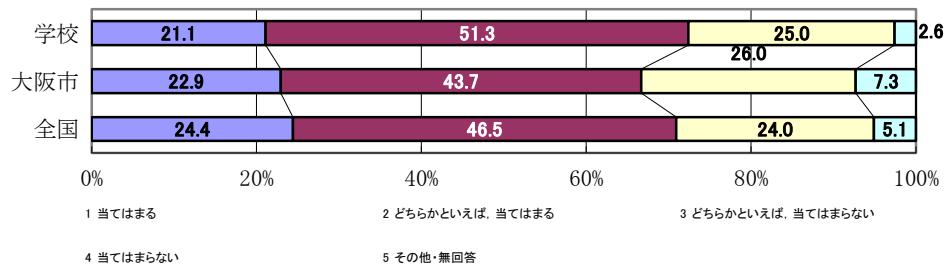
質問番号
質問事項
3
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



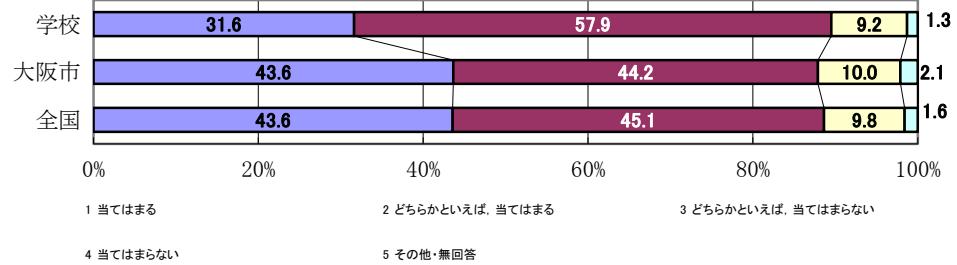
6
自分には、よいところがあると思いますか



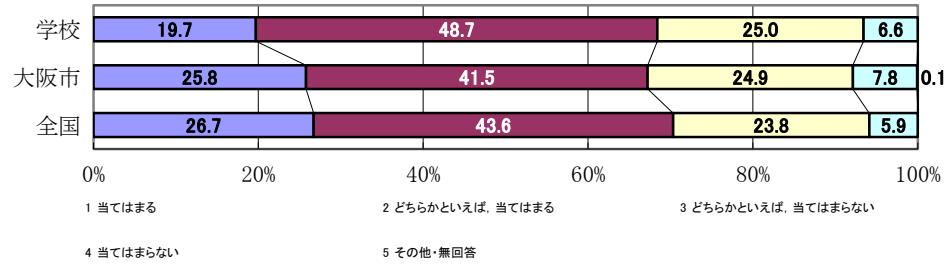
9
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか



10
人が困っているときは、進んで助けていますか



14
自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか



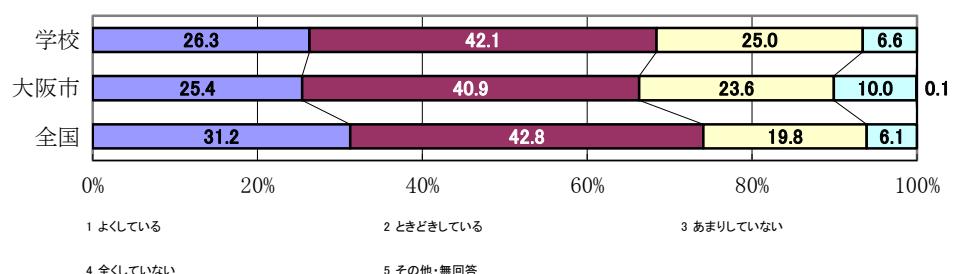
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

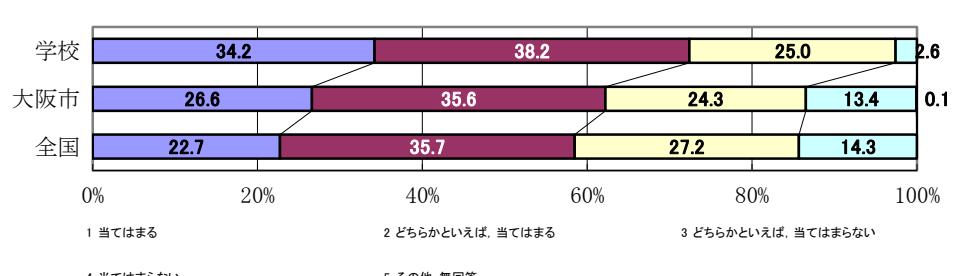
17

家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)



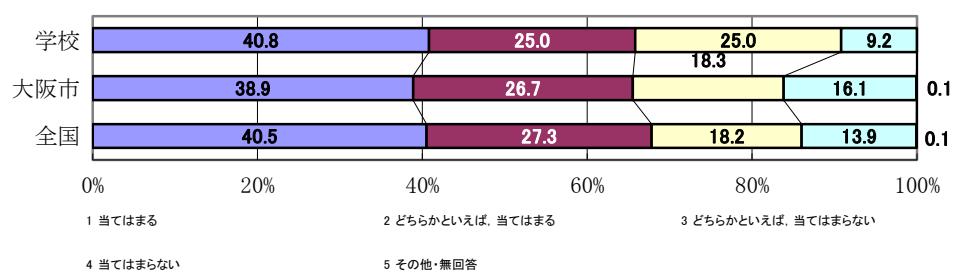
43

国語の勉強は好きですか



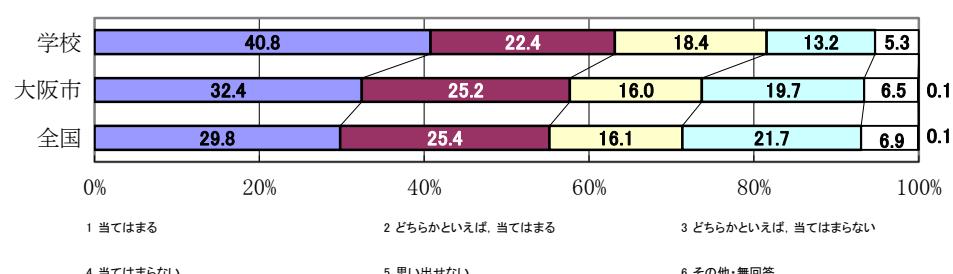
52

算数の勉強は好きですか



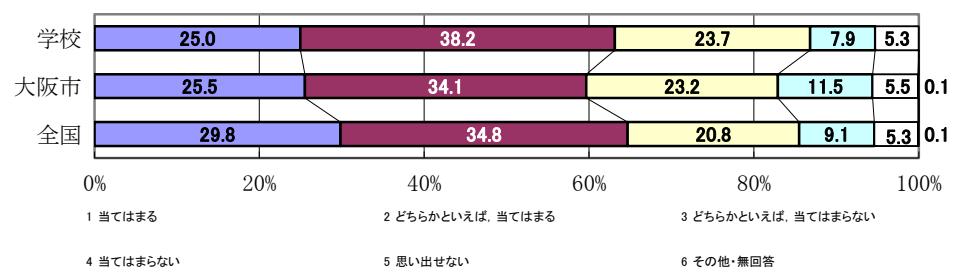
64

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか



65

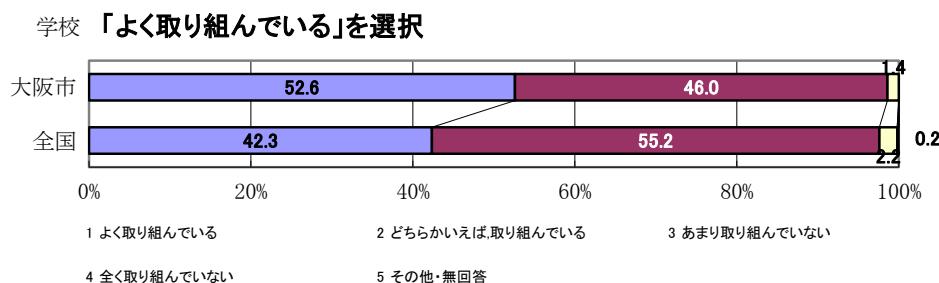
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか



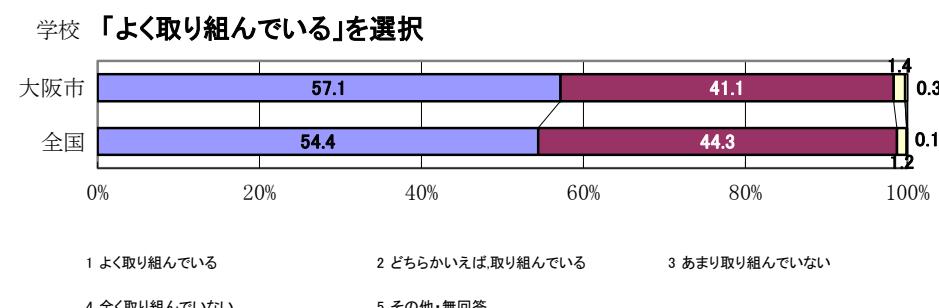
学校質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

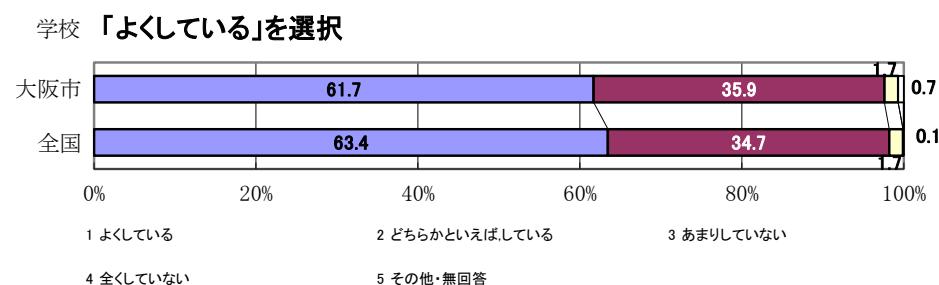
質問番号
質問事項
16
学校として業務改善に取り組んでいますか



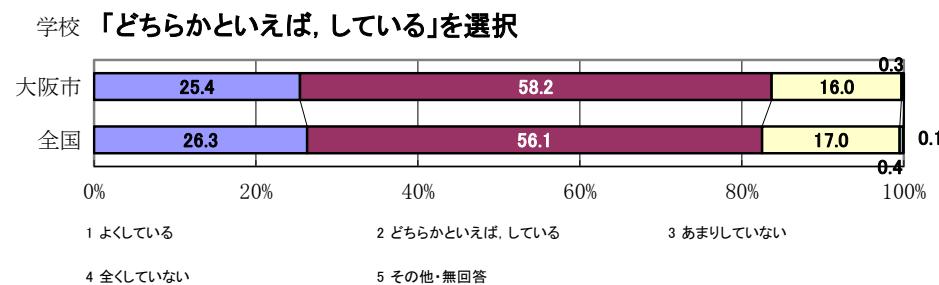
17
学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか



23
授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか



24
児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか



82
保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか

